

広報かいせい10月号を ポスティング で 全世帯にお届けします

毎月自治会を経由して配付している広報かいせいを
10月号のみポスティングで全世帯へお届けします。

問 企画政策課 ☎84-0312

△ ポスティングのポイント

予算を抑えるため、民間企業から広告を募り、その広告収入をポスティングの費用に充てます。そのため、ポスティングの際は、広報かいせいに加えて、民間企業の広告が同封されます。



負担を少なく、より多くの皆さんへ
現在、広報かいせい等の配付は、各自治会を経由して自治会加入者にみ配付をしています。一方で、自治会未加入者に町からの情報をどのように届けるかが課題となっています。
また、配付をお願いしている自治会の皆さんの負担軽減のために、自治会経由によらない広報紙等の配付方法について検討を重ねてきました。町に住む全ての人への町政情報の提供と、配付を担っている自治会の維持・活性化に繋げることを目指すとして、官民連携によるポスティング試験配付を実施します。
今後、今回の試験配付の結果を検証し、より良い配付方法について、さらに検討を進めます。



配達員がお届け！

腕章と名札をつけた配達員が皆さんのご自宅のポストにお届けします！
お届けの際、住宅の敷地内に立ち入ることがあります。ご了承ください。

試験配付実施号

広報かいせい10月号

*ポスティングの試験配付は、10月号のみです。11月号からは通常どおり、自治会を経由して配付します。

配付開始予定

10月4日(月)

配付完了予定

10月9日(土)

注意事項

*回覧物は通常どおり自治会を経由して、配付します。
*準備ができ次第、配布を開始するため、上記スケジュールが前倒しになる場合があります。

「広報かいせいが届かない」などのお問合せはこちら

株式会社あおぞらポスト

☎0120-862-655

(年中無休 9:00~18:00)



1 認知症ってこんな病気

認知症は、何らかの原因により脳が障害を起こし、記憶力や判断力などの認知機能が低下して、日常生活に支障をきたす状態のことです。単なる物忘れとは異なり、物事全体がすっぽりと記憶から消えてしまいます。

誰よりも認知症の当事者がストレスを感じ、落ち込み、不安を感じています。周囲の人が当事者を全て理解するのは難しいのですが、認知症を正しく知ることで寄り添うことができます。

■ 知っておきたい！認知症の初期症状



直前にしたことや話したことを忘れてしまう。
同じことを何度も言ったり、聞いたりする。
突然怒りっぽくなる。
おしゃれなど身だしなみに気が遣わなくなる。
今までできていた家事や運転ができなくなる。

■ 周囲の人の対応のポイント！3つのない

- 1 驚かさない 2 急がせない 3 (自尊心を)傷つけない

叱つたり、無理に説得しようとするとかえって症状を悪化させてしまうこともあります。
病気の症状であることを理解して、温かく接することで当事者の安心に繋がります。

2 情報満載！開成町認知症ガイドブック



認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けられるよう、早期発見のポイントや症状の進行に応じたサービスや相談先、専門的な医療機関等の情報を掲載した「開成町認知症ガイドブック」を作成し、町ホームページページで公開しています。

冊子版は役場と開成町福祉会館でも配布しています。



3 気になったら…すぐ相談！

開成町地域包括支援センター

認知症のことが気になる高齢者やそのご家族をサポートします。
電話相談は、緊急時、時間外でも転送により対応します。いつでもご相談ください。

☎0465-83-7688

(平日8:30~17:00)

ほのぼのサロン

認知症等で介護が必要な方とその家族、地域の方、専門家等、どなたでも参加できる集いの場です。専門スタッフに相談もできます。

日時 10/1金 9:30~11:30

場所 開成町福祉会館2階

9月は…
世界アルツハイマー月間です！

認知症

身近な病気、認知症。6人に1人が認知症と言われています。自分自身や家族、友人など誰もがなり得る可能性があります。むやみに恐れるのではなく、正しく理解したうえで向き合つてませんか。

